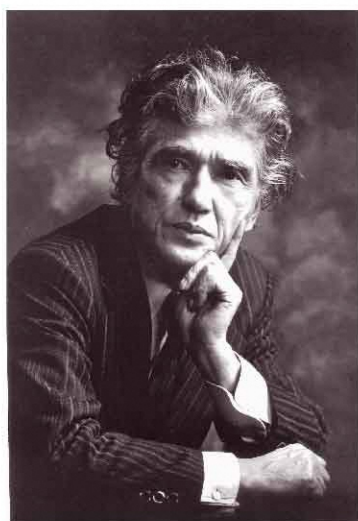


田村耕一の鉄絵

田村耕一は富本憲吉に師事して陶芸を学んだ。初期の頃は黒色と黄褐色の二種類の鉄釉を用い、蠟抜きや筒描きによる草花文様の作品を発表して高い評価を得た。その後、刷毛目を施した上に勢いのある筆描きで鉄絵の文様を表し、銅彩を併用して色彩に変化を与え、さらに青磁釉を用いて重厚さを表現するなど鉄絵を基としながら数々の技法を加えて表現内容を豊かにし、高い芸術性を持つ陶芸を制作している。

(人間国宝への認定理由より)



田村耕一略歴

- 1918 栃木県佐野市富岡町に生まれる。
- 1949 佐野市久保町に倒焰式の薪窯を築く。
- 1956 現代日本陶芸展で朝日新聞社賞、松坂屋賞。日本陶磁協会賞。
- 1960 第7回日本伝統工芸展で奨励賞。
- 1961 富本賞。文化財保護委員会、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館買上。
- 1962 日本伝統工芸展鑑査委員。以後鑑査委員、審査員。
- 1967 トルコのイスタンブール国際陶芸展金賞。
- 1975 日本陶磁協会賞金賞。
- 1977 東京藝術大学工芸科教授に就任する。
- 1983 紫綬褒章。
- 1986 重要無形文化財保持者(人間国宝)認定。佐野市名誉市民。
- 1987 1月3日死去。同日、従四位勲三等瑞宝章。



■お車をご利用の場合

東京	東北自動車道	佐野藤岡IC	約15分	当館
郡山	東北自動車道	佐野SAスマートIC	約10分	当館
友部	北関東東・東北道	佐野SAスマートIC	約10分	当館
		佐野藤岡IC	約15分	当館
高崎	北関東自動車道	佐野田沼IC	約15分	当館

■電車をご利用の場合

東京(浅草)	東武伊勢崎線	久喜	東武伊勢崎線	約30分	館林	東武佐野線	約15分	佐野
東京(上野)	JR宇都宮線	約50分						
東京(新宿)	JR湘南新宿ライン	約50分						
東京	東北新幹線	約45分	小山	JR両毛線	約30分		JR両毛線	約15分
宇都宮	東武宇都宮・東武日光線	約35分	栃木					当館

■高速バス(JRバス マロニエ号)をご利用の場合

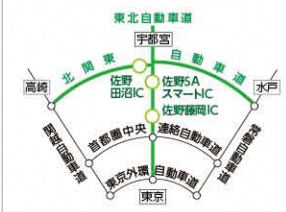
東京・新宿	マロニエ号	約90分	佐野新都市	市内巡回バス	約15分	佐野駅	徒歩	約5分	当館
-------	-------	------	-------	--------	------	-----	----	-----	----

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 12月30日～1月1日
(その他臨時休館日有り)

入館料 無料
駐車場 市役所南P、市営Pをご利用ください

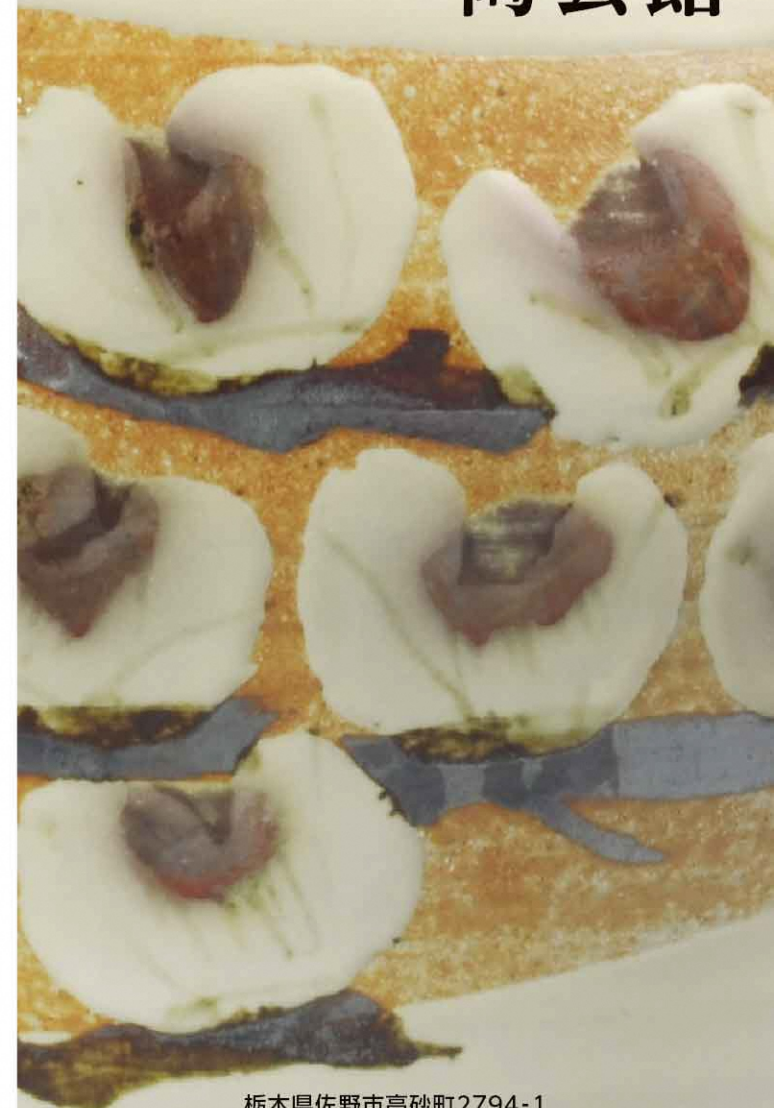
人間国宝 田村耕一 陶芸館 公式Webページはこちらから▶

3つのインターチェンジが
ご利用できます



佐野市 人間国宝 田村耕一 陶芸館

人間国宝 田村耕一 陶芸館



栃木県佐野市高砂町2794-1
まちなか活性化ビル「佐野未来館」1階
TEL・FAX 0283(22)0311

<https://www.city.sano.lg.jp/sp/tamuraoichitogeikan/>

田村耕一は、東京藝術大学工芸科教授を務め1986年（67歳）には、芸術性の高い「鉄絵」の技法を評価されて、国の重要無形文化財保持者（人間国宝）の認定を受けました。また同年、本市の誇る秀でた芸術家として「名誉市民」に推挙されております。

この陶芸館は、氏の偉大な功績を讃え、生涯作品を広く公開して、芸術文化の振興を図るとともに、魅力ある中心市街地活性化の切札として「街なかにぎわい創出事業」により設置されたものです。

どうぞ、日常の喧騒を離れ、ごゆくりと田村耕一の世界「鉄絵陶芸の美」をご堪能ください。



人間国宝
田村耕一
陶芸館

令和7年度 企画展



鉄絵草花文壺

田村耕一 おもむき 壺の趣展

3月21日(金)～6月29日(日)

田村耕一の世界展

7月4日(金)～11月9日(日)



掛分椿文蓋付小壺



かたくり文輪花大皿

モノトーンと カラフル

11月14日(金)～3月1日(日)



青磁鉄仙文壺



緑釉梅文楕円皿



鉄絵銅彩柘榴文壺